

令和6年度福岡県学力調査(5年生)の結果について

6月に5年生を対象に行われた、福岡県学力調査(国語・算数)の結果をお知らせします。この結果は学力の全てではなく一部です。しかし、この結果をしっかりと分析し、今後の指導に活かしていきたいと考えています。ご家庭におかれましても、お子様の学力の実態をとらえ、家庭で働きかける一つの資料としてお考えください。

国語(福岡県調査)

◇国語について、県平均とほぼ同じです。

◇「話すこと・聞くこと」における記述式の問題では県平均よりやや上回っています。「話し合われたことに対する自分の考えをまとめる」力がついています。

◆「読むこと」の問題において、県平均よりやや下回っています。「筆者の考えを、叙述を基に捉えること」「必要な情報を見つけて要約すること」の力が足りていません。

◆漢字の書き取り6問中4問が県平均より下回っています。

☆このことから、「読むこと」においては、段落ごとの要点把握や筆者の考えを捉える力、要約力が弱いと考えられます。そのため、説明文の音読や読み取り、日々の読書活動を充実させていきます。また、漢字についても家庭学習での定着を促し、意識的に書かせる活動を通じて、確実に身につけさせていきます。

算数(福岡県調査)

◇算数について、県平均より上回っています。「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」全ての領域において県と比べて、高い正答率となっています。記述式では、県平均を上回っているものの、正答率が低くなっています。

◆「乗法や除法の式の意味を解釈する」問題のみ、県平均をやや下回っています。式の数や記号が何を表しているのかを考察する力がやや弱いようです。

◇このことから、基礎的な事項については、習熟が進んでいることが分かります。これは、普段の授業はもちろん、宿題においても基礎的な問題を多く取り扱ってきた成果と言えます。この基礎的な力を土台として今後、さらに伸ばしていけるよう取り組みを行っていきます。

☆今後も引き続き、基礎学力の定着を図りながら、特に文章問題での立式においては、関係図や線分図などを使って、式の意味を考えさせながら指導していきたいと考えています。